

学則変更の趣旨等を記載した書類

1 学則変更（収容定員変更）の内容

本学は、平成元年、学校法人専修大学を礎に石巻圏域の支援を受けて、建学の精神「社会に対する報恩奉仕」を東北において実現すべく、開学した。現在、理工学部、経営学部と人間学部、理工学研究科と経営学研究科を設置し、「諸科学の研究を通して、地域及び国際社会の発展に寄与するとともに、高度な専門知識と豊かな教養を身につけた有為な人材の育成」を大学の目的として定め、高等教育機関としての使命を果たすべく、常に教育課程の改編や教育内容の見直しなど教育研究環境の整備と充実に努めてきた。

今回の収容定員の変更は、大学の収容定員の総数 1,760 人の増減を伴わないもので、次のとおりである。令和 4 年 4 月から、理工学部食環境学科の学生募集を停止（△40 人）し、同学部生物科学科（36 人）と同学部情報電子工学科の入学定員（4 人）に振り分け、大学全体の収容定員（1,760 人）の変更を伴わない届出申請を行い、学部・学科間の定員の移行による入学定員充足率の改善を目的とする。

[表 1 入学定員及び収容定員]

学部	学科	変更前 (R3)		変更後 (R4)		増 減	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
理工	食環境	<u>40</u>	<u>160</u>	<u>二</u>	<u>二</u>	△40	△160
	生物科	<u>55</u>	<u>220</u>	<u>91</u>	<u>364</u>	36	144
	機械工	40	160	40	160	0	0
	情報電子工	<u>35</u>	<u>140</u>	<u>39</u>	<u>156</u>	4	16
	学部計	170	680	170	680	0	0
経営	経営	145	580	145	580	0	0
	情報マネジメント	45	180	45	180	0	0
	学部計	190	760	190	760	0	0
人間	人間文化	40	160	40	160	0	0
	人間教育	40	160	40	160	0	0
	学部計	80	320	80	320	0	0
総 計		440	1,760	440	1,760	0	0

2 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学は、令和元（2019）年に「石巻専修大学中長期ビジョン」を設定し、今後 10 年を見据えた中長期ビジョンに基づく大学改革を進めている。直近の 5 年間の「中長期ビジョン（2020～2024 年度）」では、建学の精神・理念・目的を具現化するための教育研究活動を推進し、学生の学習環境をより一層整備することを目指している。また、令和 2（2020）年度には「石巻専修大学中長期ビジョン行動計画」を策定し、令和 3（2021）年度には実施計画によって、具体化を図る計画としている。令和 2（2020）年度の教育改革の一環として、「学修成果を可視化させる DP・CP・AP」の再構築を行い、これを達成するために、教育研究活動を充実させることとしている。この中長期ビジョンによる施策を進めるとともに、18 歳人口の減少期においても、本学が多様化、個性化を図りつつ、さらなる発展を遂げるためには、社会の要請を踏まえつつ、建学の精神に基づき、学部、学科における教育研究上の目的を明確にし、特色ある個性的な目的や独自性のある存立意義を学内外に発信していく。

また、学術研究の高度化に伴い学部教育が対象とする専門領域も広範囲に及んできていることから、進学希望者の興味と関心や学習意欲に柔軟に对应していくために、学生の選択の幅や流動性を高める工夫も重要となっており、学術研究の進展や進学希望者の動向を勘案した教育組織の整備が求められる。社会の要請や地域のニーズ等へ対応すべく、既設の経営学部を改組し、令和 3（2021）年 4 月には新たな教育研究組織として経営学部情報マネジメント学科を設置（届出申請）した。

一方で本学の入学者確保状況からは、理工学部食環境学科において入学定員確保が厳しく、理工学部生物科学科と情報電子工学科では、入学者定員を上回る学生を確保できた。今回の学則変更（収容定員変更）及び理工学部食環境学科の学生募集停止によって、令和 4（2022）年 4 月には理工学部の 4 学科を 3 学科体制とし、この改編等によって本学は 3 学部 7 学科、2 研究科となる。

以上のことから現状における入学状況及び今後の見通しを反映した適切な定員変更を行うものである。なお、この一連の改組等において、大学の収容定員総数の変更は行わない。

① 理工学部

理工学部は、平成 25 年度に既設学科を改組して食環境学科と生物科学科を開設し、現在の組織体制となった。理工学部は、基礎科学からそれを応用する技術に至る総合的、体系的な教育研究を通して、幅広い教養と専門知識を習得し、人間社会が必要とする多様な情報を科学的に収集し、必要な情報を発信できる能力を備え、様々な科学技術の諸課題の解決に主体的かつ創造的に貢献できる能力を育てるこ

とを教育上の目的としている。近年、新型コロナウイルスの感染や多発する異常気象など生物・生命・自然環境の変化が社会に与える影響は予想以上の広がりを見せ、また、Society 5.0、ロボット制御や車の自動運転など新しい技術も日々発展し続けている。これら環境の変化や技術の進歩に対応し、持続可能な社会の発展に貢献していくためには、今以上に柔軟で幅広い知識と課題解決に主体的に取り組む能力が重要となる。

こうした現状を鑑み、建学の精神、大学の理念に基づく教育・研究の質を、今後も維持、向上していくために、大学全体の定員は変更することなく、1学科の学生募集を停止し、2学科の定員を増やすこととした。

[表2 理工学部の入学生定員の推移（資料1）]

学部	項目	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
理工	入学定員充足率	0.77	0.79	0.94	0.83
	入学者数	131	135	160	142
	入学定員	170	170	170	170

*入学定充足率は、小数点以下2位（第3位を切捨て）

② 食環境学科

平成 25 年度の開設以後、食環境学科（40 人）の入学生定員の充足状況は、平成 25 年：26 名、平成 26 年：17 名、平成 27 年：31 名、平成 28 年：9 名、平成 29 年：22 名、平成 30 年：16 名、令和元年：15 名、令和 2 年：14 名、令和 3 年：8 名となっていることから社会の変化と要請に的確に対応していくため、学生募集を停止とする。

③ 生物科学科

理工学部生物科学科は、生物科学分野に係る教育研究を通して、幅広い教養に支えられた豊かな人間性や社会倫理観、生涯にわたり学び続ける主体性を養うとともに、生物を科学的に探求するための知識・技能と調査・実験の結果に対する解析力や論理的な思考力を確実に身に付け、それらを生物科学に関する社会の諸課題の解決に活用できる総合的かつ創造的な能力を育てることを教育上の目的とする。

今日の社会状況を見た場合、新型コロナウイルスの感染や多発する異常気象など生物・生命・自然環境の変化が社会に与える影響は予想以上の広がりを見せており、様々な事例に適切に対応できる人材が求められている。一方、18 歳人口の減少や高学歴志向への対応など、高等教育を取り巻く社会情勢は急速に変化してきており、その方向性も複雑かつ多様化してきていることから、受験生の興味と関心や進

学動向を踏まえた上で、学生の選択の幅や流動性を高めるとともに、多様な学習機会の確保への対応などに向けて、高等教育機関としての役割を発展的に推進する必要性が生じている。このような社会の人材需要や受験生の進学動向などを踏まえ、生物科学科はSDGsへの取り組みやこれら環境の変化や技術の進歩に対応し、持続可能な社会の発展に貢献し、寄与する必要があると判断し、本学の理工学部において培ってきた教育内容をさらに充実させていく。

生物科学科（55人）の直近の4年間の入学定員充足は、平成30年：57名、令和元年：64名、令和2年：70名、令和3年：67名であり、直近4年間の平均は64.5名で平均入学定員超過率は、1.16となっていることから入学定員を見直し、上記のような社会の変化と要請に的確に対応していくため、食環境学科の入学定員36人を振り替えて、91人とする。

④ 情報電子工学科

理工学部情報電子工学科は、情報通信及び電気電子工学分野に係る教育研究を通して、幅広い教養に支えられた豊かな人間性や高い職業観、生涯にわたり学び続ける主体性を養うとともに、情報通信及び電気電子工学分野に関する知識と技術を体系的に身に付け、現代の高度情報化社会の諸課題の解決に活用できる総合的かつ創造的な能力を育てることを教育上の目的とする。

今日の社会状況を見た場合、Society 5.0、ロボット制御や車の自動運転など新しい技術も日々発展し続けており、これら環境の変化や技術の進歩に対応し、持続可能な社会の発展に貢献していくためには、今以上に柔軟で幅広い知識と課題解決に主体的に取り組む能力が重要である。一方、18歳人口の減少や高学歴志向への対応など、高等教育を取り巻く社会情勢は急速に変化してきており、その方向性も複雑かつ多様化してきていることから、受験生の興味と関心や進学動向を踏まえた上で、学生の選択の幅や流動性を高めるとともに、多様な学習機会の確保への対応などに向けて、高等教育機関としての役割を発展的に推進する必要性が生じている。このような社会の人材需要や受験生の進学動向などを踏まえ、情報電子工学科はSDGsへの取り組みやこれら環境の変化や技術の進歩に対応し、持続可能な社会の発展に貢献し、寄与する必要があると判断し、本学の理工学部において培ってきた教育内容をさらに充実させていく。

情報電子工学科（35人）の直近の4年間の入学定員充足は、平成30年：36名、令和元年：28名、令和2年：44名、令和3年：40名であり、直近4年間の平均は37名で平均入学定員超過率は、1.05となっていることから入学定員を見直し、上記のような社会の変化と要請に的確に対応していくため、食環境学科の入学定員4人を振り替えて、39人とする。

3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

今回の学則変更（収容定員変更）に伴い、大枠となる教育課程の変更は行わないが、「中長期ビジョン（2020～2024年度）」では、建学の精神・理念・目的を具現化するための教育研究活動を推進する教育改革を行う。教育の質の保証を行うための施策として、理工学部における教育課程、教育方法及び履修指導方法の内容並びに変更内容は次のとおりであり、変更前の内容と比較して現行の教育課程同等以上の内容を担保し、発展に努める。

（1）教育課程の変更内容

本学の教育課程は、「基本教育科目」と「専門教育科目」の区分によって編成されており、高等教育の大衆化の進行と生涯学習への移行を踏まえつつ、学部段階の専門教育では特定分野における完成教育というよりも、生涯学び続ける基礎を培うより普遍的な教育が求められていることから、教養教育及び専門分野の基礎・基本を重視した教育を行うことにより、専門的素養のある人材として活躍できる基礎的能力や生涯学習の基礎等を培うこととしている。また、学部段階における専門教育は、基礎・基本を重視しつつ、関連諸科学との関係を教えることなどを通じて、学生が主体的に課題を探究し解決するための基礎となる能力を育成するとともに、卒業後、社会人として成長していく過程において、実務等を通じて、新たな知識や能力を体得していくための資質や能力を育成するための基礎教育を重視することとしている。特に、「専門教育科目」では、4年間の学習期間内において、教育研究上の目的や人材養成の目的等を確実に達成するとともに、学部基礎教育の重要性を踏まえたうえで、教育課程が過密とならないように配慮することから、教育内容を精選し、人材養成の目的や学位授与の方針を達成するために必要な授業科目について、優先順位を踏まえた配置とすることにより、単位制度の実質化による学習時間を確保することで質の確保を目指すこととしている。

また、現在、社会に要請される人材育成、学習成果の可視化に向け、中長期ビジョンに基づく大学改革によって教育課程の体系化を図ることとしている。

なお、教育課程の内容については、今回の学則変更（収容定員変更）に伴い、変更前の内容と比較して現行の教育課程同等以上の内容を担保し、発展に努めることとしている。他学部等に影響を与える授業科目についてはない。

① 理工学部の教育課程

基本教育科目では、高等教育の大衆化の進行と生涯学習への移行を踏まえつつ、学部段階の専門教育では特定分野における完成教育というよりも、生涯学び続ける基礎を培うより普遍的な教育が求められていることから、教養教育及び専門分野の基礎・基本を重視した教育を行うことにより、専門的素養のある人材として活

躍できる基礎的能力や生涯学習に向けた基礎等を培うこととしている。具体的には、学部段階における専門教育は、基礎・基本を重視しつつ、関連諸科学との関係を教えることなどを通じて、学生が主体的に課題を探究し解決するための基礎となる能力を育成するとともに、卒業後、社会人として成長していく過程において、実務等を通じて、新たな知識や能力を体得していくための資質や能力を育成するための基礎教育を重視することとしている。そして、「専門教育科目」では、4年間の学習期間内において、教育研究上の目的や人材養成の目的等を確実に達成するとともに、学部基礎教育の重要性を踏まえたうえで、教育課程が過密とならないように配慮することから、教育内容を精選し、人材養成の目的や学位授与の方針を達成するために必要な授業科目について、優先順位を踏まえた配置とすることにより、単位制度の実質化による学習時間を確保することで質の確保を目指すこととしている。また、理工学部の卒業単位数は、他の学部とあわせて126単位から124単位に変更する。生物科学科及び情報電子工学科における学位授与の方針は、教育課程の各科目群に配置している授業科目を体系的に履修することにより達成するものであるが、学位授与の方針を踏まえた教育課程編成の方針と授業科目との主な関係については、教育課程構造図に示すとおりとしている。[資料2，3]

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

① 教育方法

教育方法は、知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態を採るとともに、態度・志向性及び技術や技能の習得を目的とする教育内容については、演習形式及び実践・実習形式による授業形態を採ることとし、学生一人ひとりが教員と接し、授業テーマ等を明確にすることで自主・自発的な学習につなげる機会を多く持つことができるよう配慮することとしている。

授業方法は、知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式を中心とした授業形態を採るとともに、態度・志向性及び技術や技能の習得を目的とする教育内容については、演習形式及び実践・実習形式による授業形態を採ることとし、学生一人ひとりが教員と接し、授業テーマ等を明確にすることで自主・自発的な学習につなげる機会を多く持つことができるよう配慮することとしている。また、令和2年度コロナ禍において構築した非対面方式による授業方法など、ICTの利活用を積極的に取り入れ、多様なメディアを高度に利用して、教育効果のある授業を展開する。特に、教育改善のための研修会や学生による授業アンケートの実施などを積極的に進め、その後も、全学的なFD活動、教育課程毎のFD活動を積極的に推進する。

成績評価については、卒業時における学生の質を確保する観点から、予め学生に

対して各授業における学習目標やその目標を達成するための授業の方法、計画等をシラバスに明示したうえで、成績評価基準や卒業認定基準を提示し、成績評価の結果に学生が申し立てを受け付ける仕組みも整備している。これに基づき厳格な評価を行うとともに、客観的な評価基準を適用することから、厳格な成績評価の方法として、GPA 制度を導入している。

② 履修指導方法

履修指導方法は、授業を受ける学生に対して、教員が相談に応じる専用の時間を設けることにより、きめ細やかな教育指導を行う体制を整えるとともに、学期ごとに学年別の履修ガイダンスを実施したうえで、学生の適性や能力に応じて学生の履修科目の選択に関する助言を行う職員を配置し、個別の履修相談に応じるなど、学生の履修指導体制を整備する。生物科学科及び情報電子工学科の入学定員が変更した場合においても従来どおりの実施を予定している。

理工学部では履修上のコースの内容についての変更を加える。変更理由としては、学生の主体的な学びを促すため、学科内における専門性を意識した体系化した履修コースを設ける。生物科学科では、従来のコースを拡充した「海洋生物・環境」、「動物・植物」、「微生物・生命分子」及び「自然科学」の4つのコースを編成する。また、情報電子工学科は、「情報通信」と「電気電子」の2つのコースを編成、さらには機械工学科と横断的に行う「PBL 型科目」を導入し、課題対応能力の養成も行う。複雑化する現代社会の要求に対応し、多様な領域にわたる知識の修得を適切なコースで可能にしたことから、学生の興味と学習進度に応じた履修指導の徹底を図ることとしている。配当年次は、基礎から基幹へと体系的な学習が可能となるようにする。特に、専門教育においては、専門分野の教育内容ごとに、知識、技能、応用といった授業の内容と科目間の関係や履修の順序に留意するとともに、単位制度の4年間における制度設計の観点を踏まえて、特定の学年や学期において偏りのある履修登録がなされないように配慮した配当としている。

また、専門科目では、専門分野の学問体系と学習段階に即した授業科目を配置しており、学部教育段階では、基礎的な専門知識や技能を確実に修得させることに重点を置くことが重要であることを踏まえたうえで、単位制度の実質化を図る観点から、特定の学期における偏りのある履修登録を避け、学生が学習目標に沿った適切な授業科目の履修が可能となるように、養成する具体的な人材像に対応した典型的な履修モデルを提示する。〔資料4〕

なお、教育方法及び履修指導方法については、今回の学則変更（収容定員変更）に伴い、変更前の内容と比較して現行の教育課程同等以上の内容を担保して発展に努め、学生への教育的配慮、効果的な履修指導の充実を図る。他学部等に与える影響はない。

(3) 教員組織の変更内容

今回計画している学則変更(収容定員変更)及び理工学部食環境学科の学生募集停止に伴う人事計画を立案し、教員を再配置することにより十分な教員数を確保することにしており、教育に支障をきたすことはない。

令和4年4月には、理工学部食環境学科の教員(7名)と人間学部人間教育学科(2名)の教員が理工学部生物科学科に移籍、情報電子工学科には1名教員を補充することとしている。これにより、理工学部生物科学科の教員数は21名、理工学部全体では39名により対応する。理工学部共通の専門教育科目の充実を図るとともに、生物科学科の教育の充実を図る。各学科、大学設置基準に定める専任教員数を上回っている。また、退職教員を補充する際には、年齢構成等のバランスを考慮しつつ専門性を高めるために、その分野の授業科目を担当するのに適切な教員を配置していく。

また、本学の人事計画は、学部・学科の計画と全学的な計画にて立案しているため、他学部等に与える影響はない。今後も大学設置基準を遵守した上で、学生の指導に十分な教育組織を維持する。

(4) 施設・設備の変更内容

大学全体の施設・設備については、学則変更以前より大学設置基準で求めている基準を大きく上回っており、変更後においても教育に支障がない面積が担保されている。また、利用頻度が低い演習室(1室)を理工学部の実験室として変更する。今後も充実した教育環境の整備と充実に努めていく。

4 2以上の校地において教育研究を行う場合

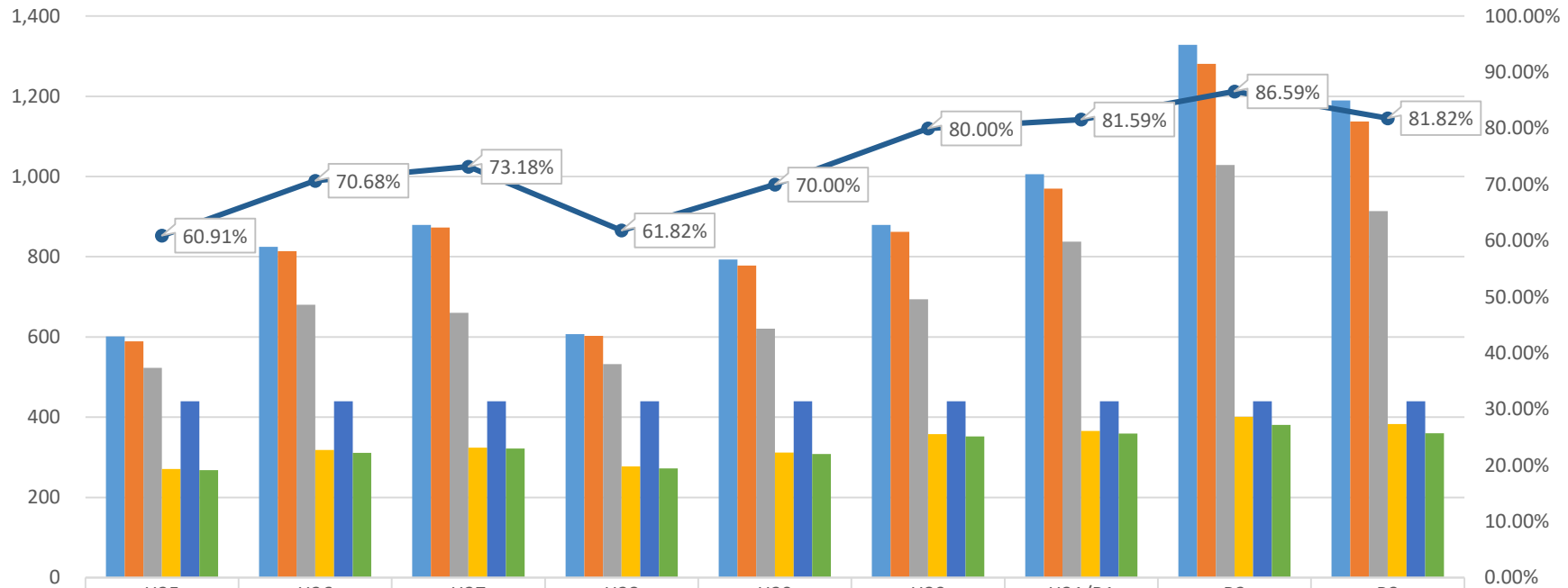
該当しない。

5 授業の一部をサテライトキャンパス等の後者以外の場所で行う場合

該当しない。

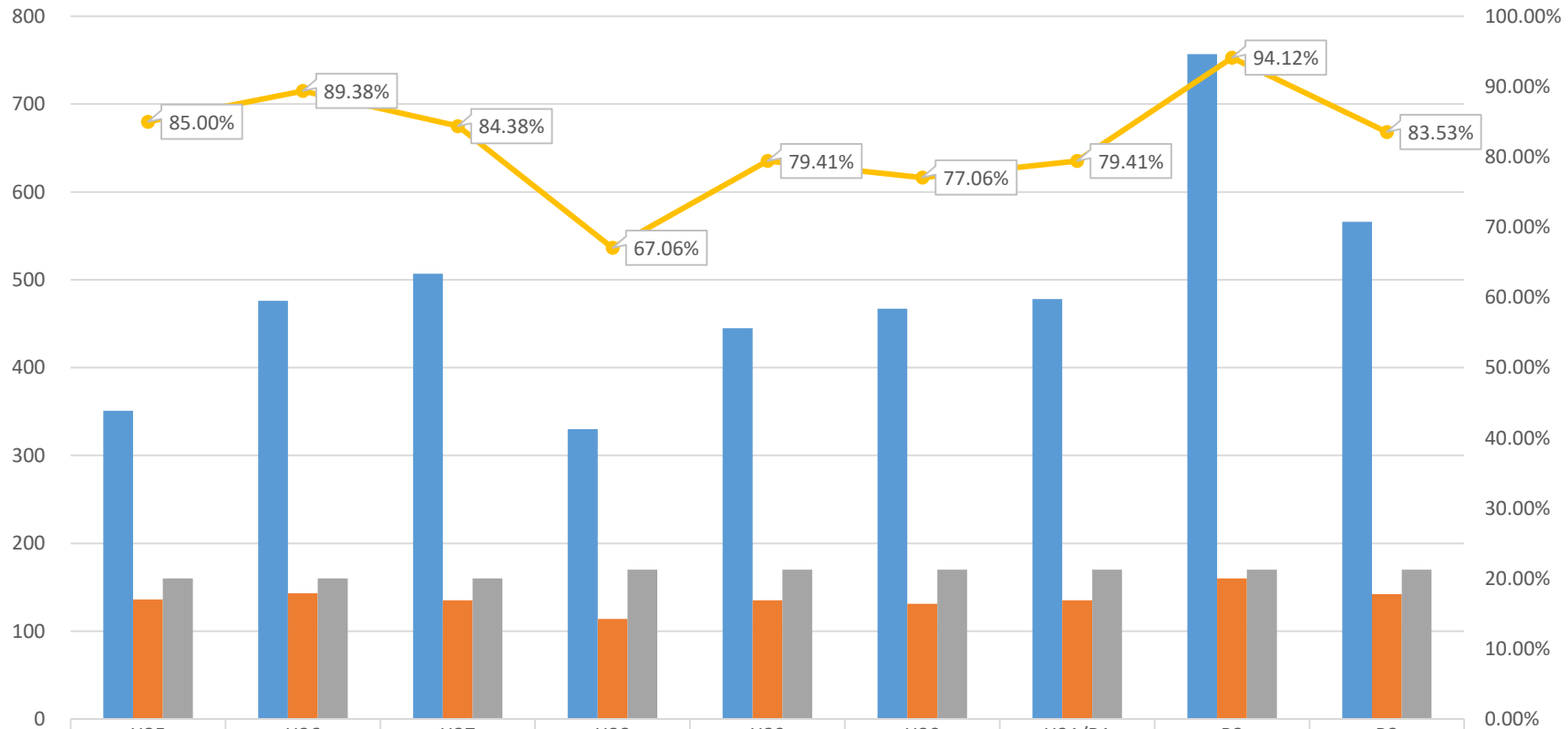
以 上

大学全体 入定員充足率



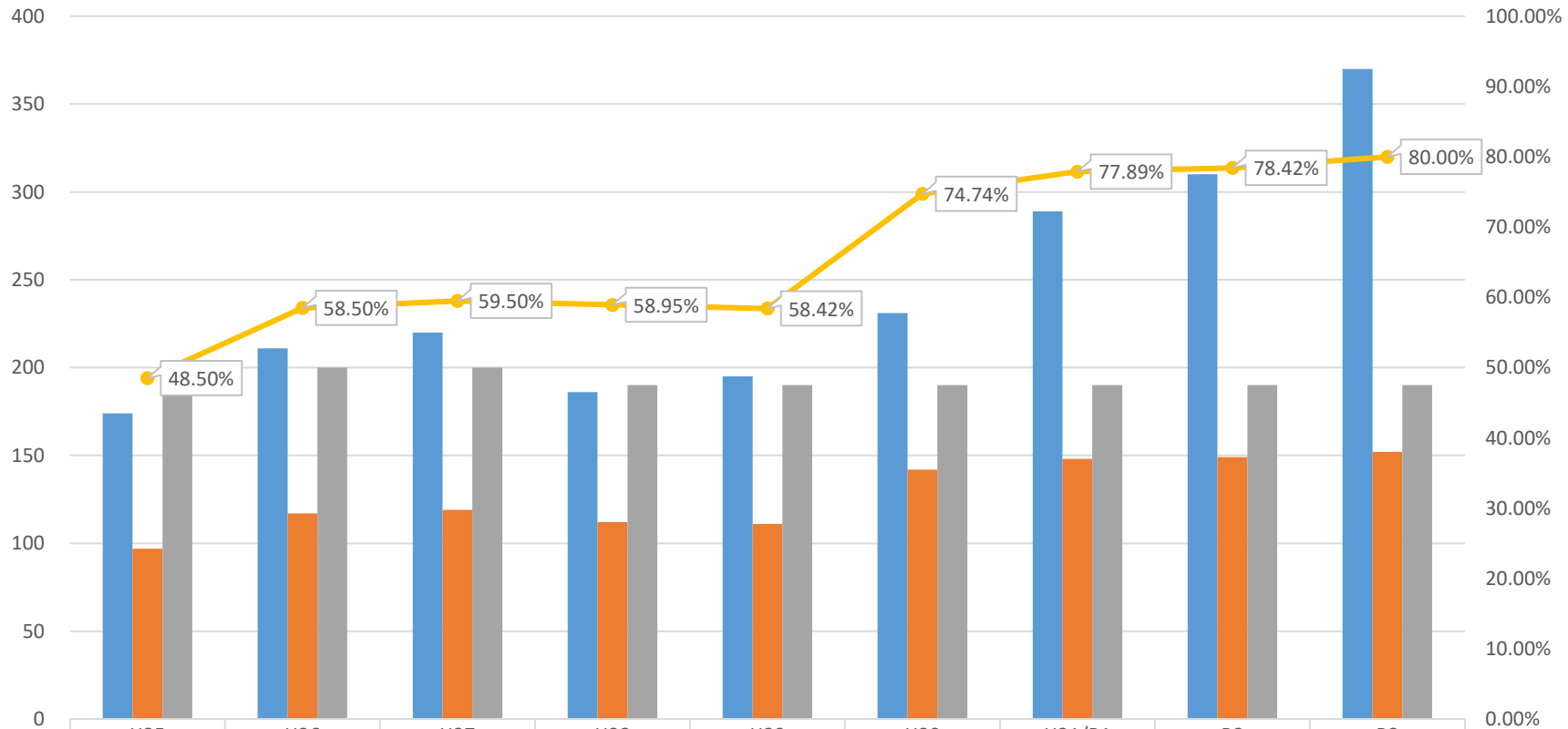
志願者数	601	825	879	607	793	879	1,006	1,328	1,190
受験者数	589	814	873	603	778	862	970	1,281	1,137
合格者数	523	680	660	532	621	694	838	1,029	914
手続者数	271	318	324	277	312	358	366	401	383
入学定員	440	440	440	440	440	440	440	440	440
入学者数	268	311	322	272	308	352	359	381	360
入定員充足	60.91%	70.68%	73.18%	61.82%	70.00%	80.00%	81.59%	86.59%	81.82%

理工学部 入定員充足率



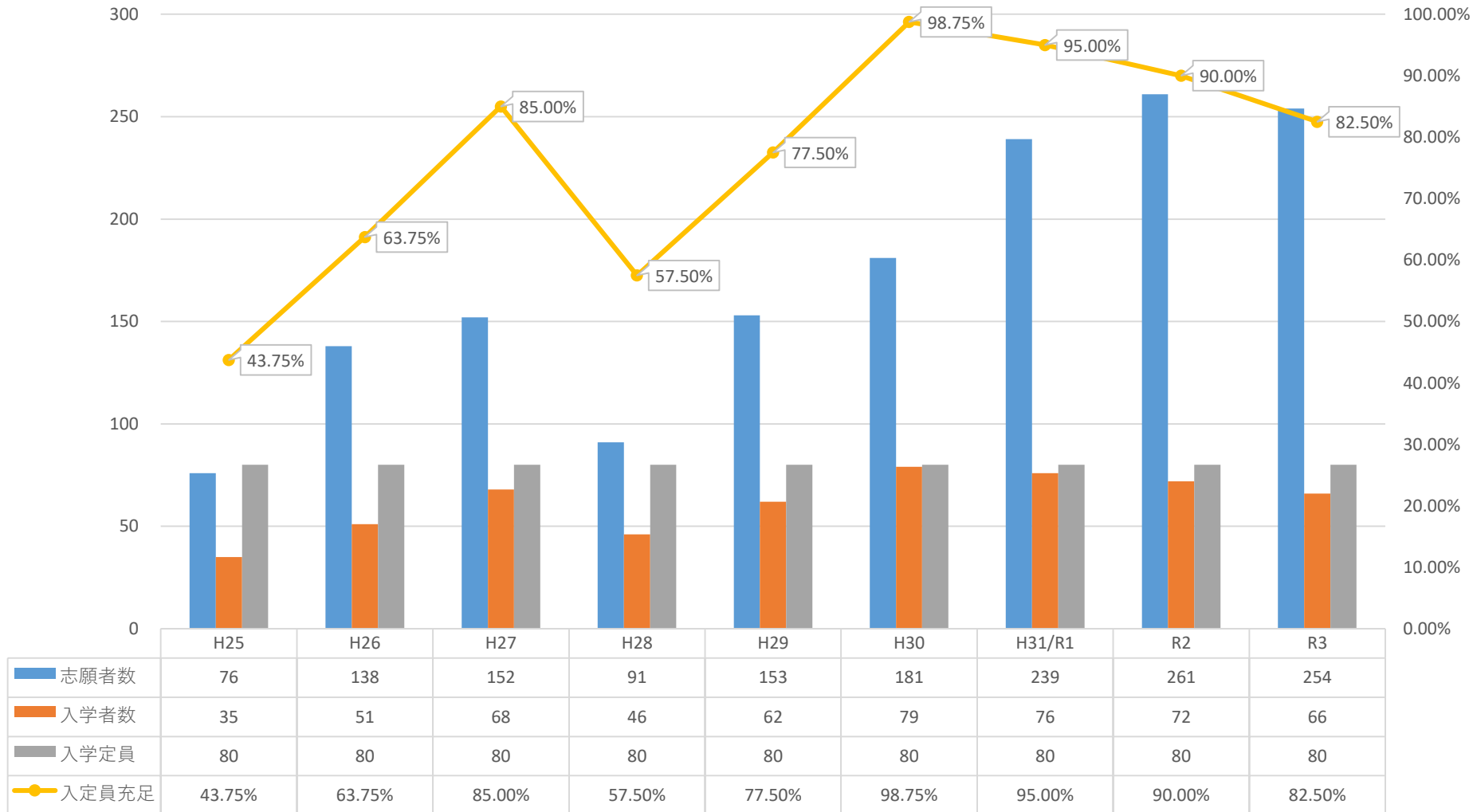
志願者数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3
入学者数	351	476	507	330	445	467	478	757	566
入学定員	136	143	135	114	135	131	135	160	142
入定員充足	160	160	160	170	170	170	170	170	170
	85.00%	89.38%	84.38%	67.06%	79.41%	77.06%	79.41%	94.12%	83.53%

経営学部 入定員充足率

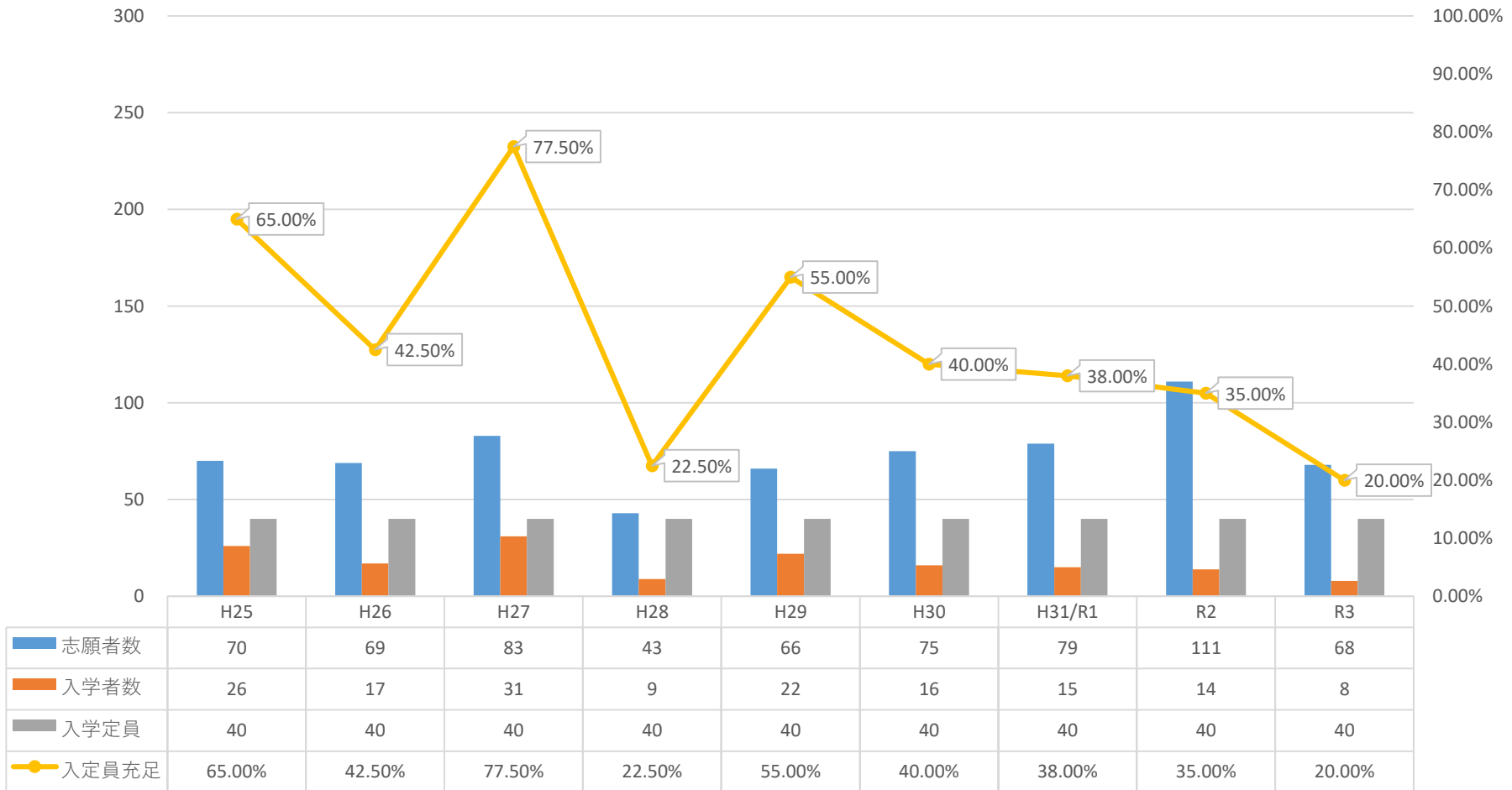


志願者数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3
入学者数	174	211	220	186	195	231	289	310	370
入学定員	97	117	119	112	111	142	148	149	152
入定員充足	200	200	200	190	190	190	190	190	190
	48.50%	58.50%	59.50%	58.95%	58.42%	74.74%	77.89%	78.42%	80.00%

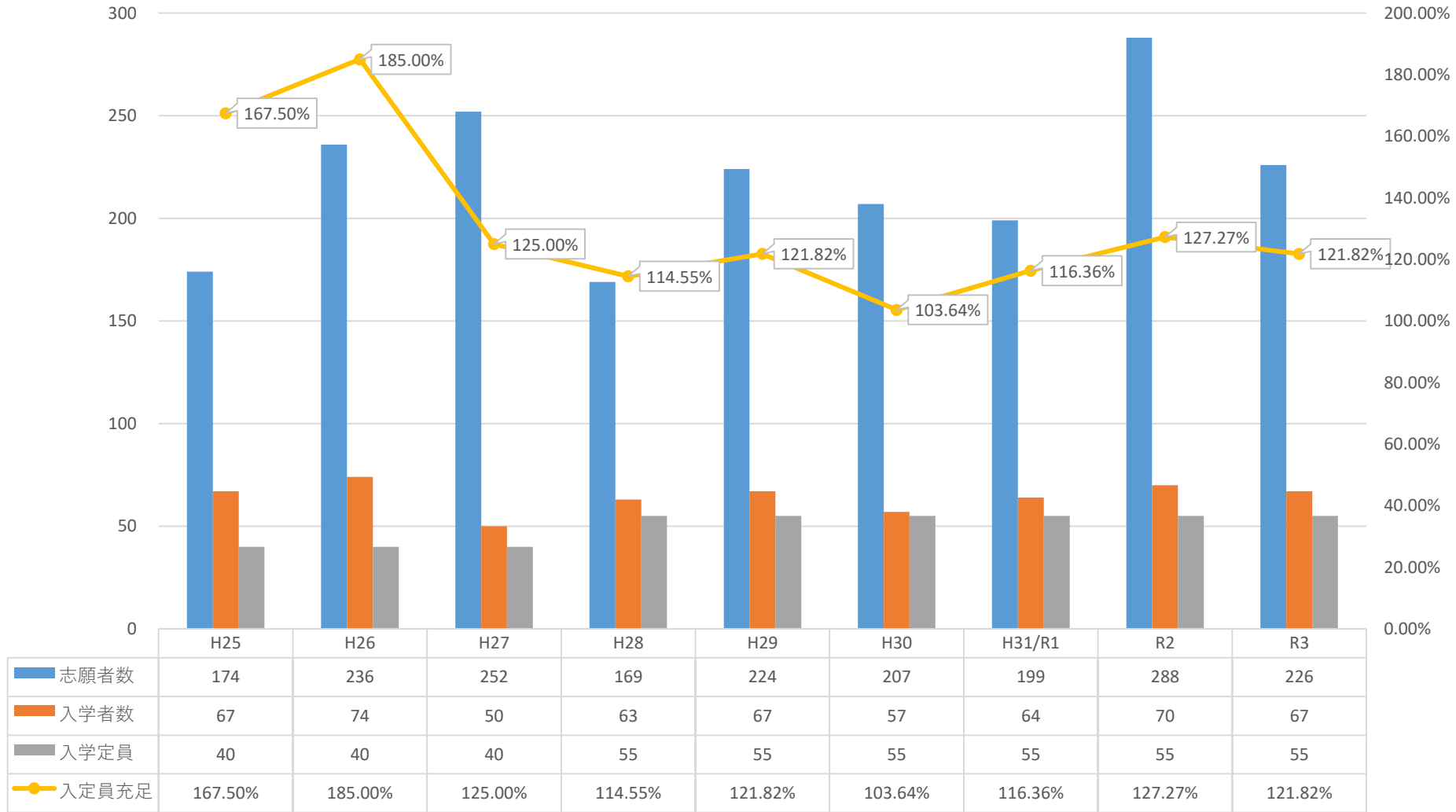
人間学部 入定員充足率



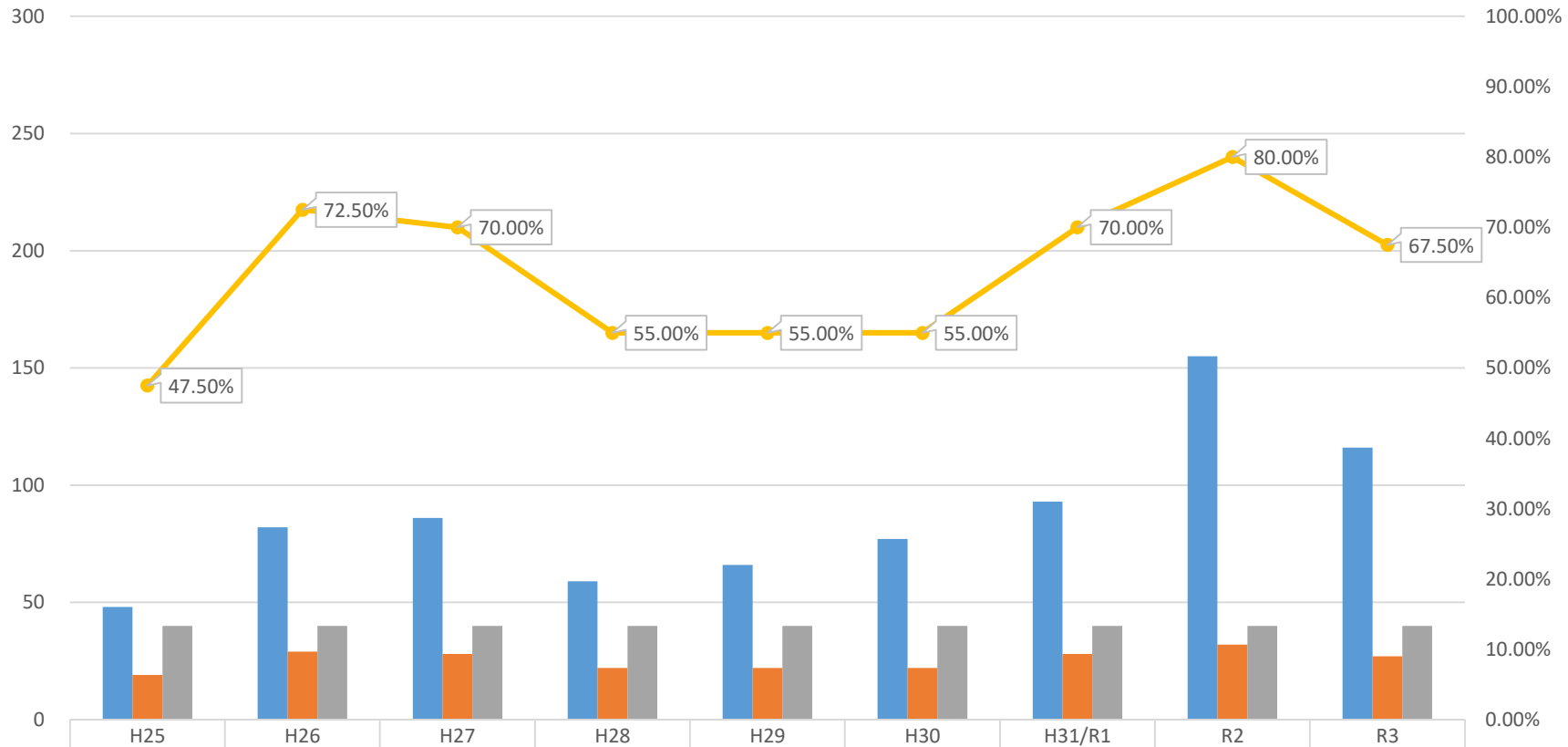
食環境学科 入定員充足率



生物科学科 入定員充足率

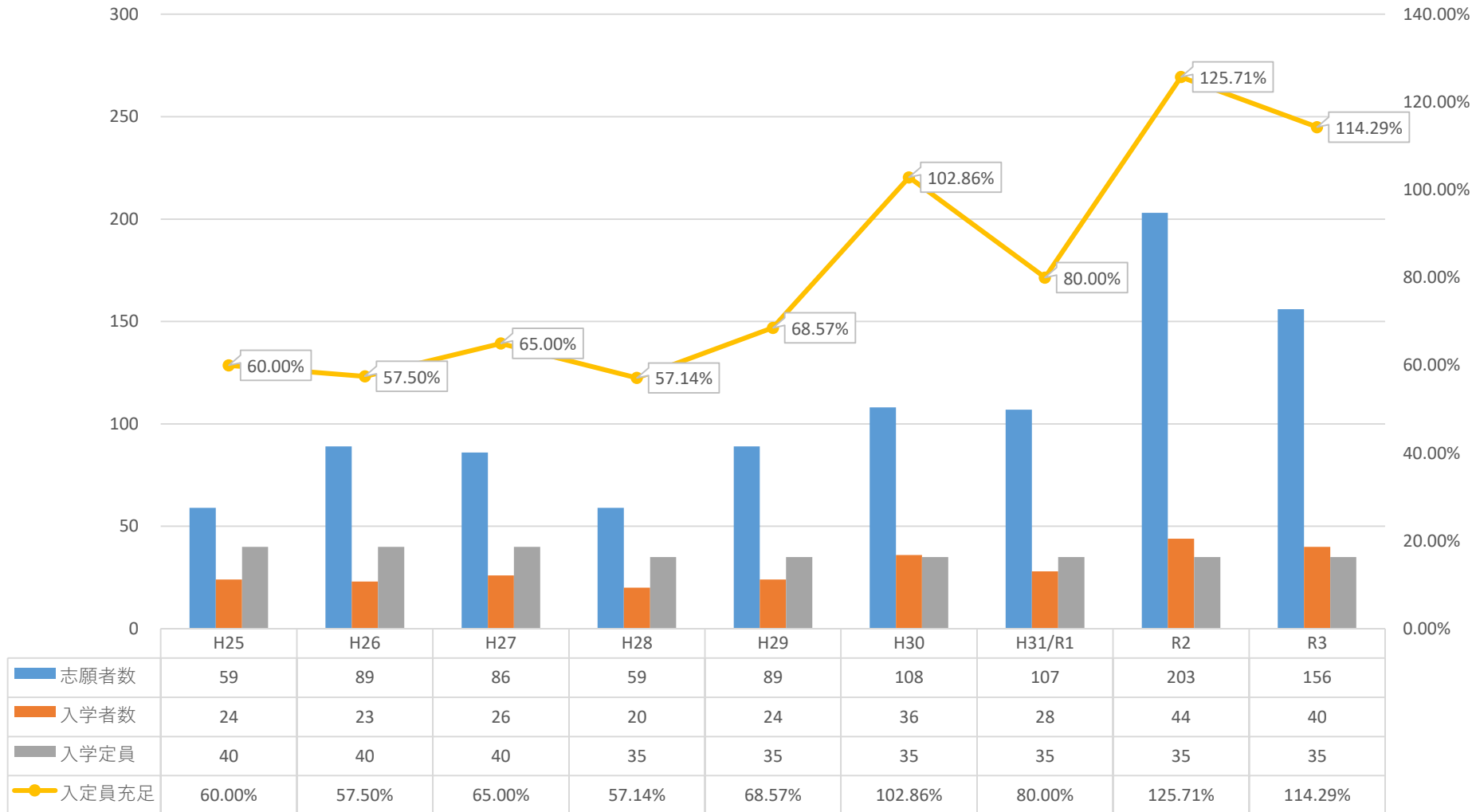


機械工学科 入定員充足率



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3
志願者数	48	82	86	59	66	77	93	155	116
入学者数	19	29	28	22	22	22	28	32	27
入学定員	40	40	40	40	40	40	40	40	40
入定員充足	47.50%	72.50%	70.00%	55.00%	55.00%	55.00%	70.00%	80.00%	67.50%

情報電子工学科 入定員充足率



建学の精神

社会に対する報恩奉仕

大学の理念（21 世紀ビジョン）

社会知性（Socio-Intelligence）の開発

大学の目的

「諸科学の研究をととして、地域及び国際社会の発展に寄与するとともに、高度な専門知識と豊かな教養を身につけた有為な人材を育成すること。」（学則第 1 条）

養成する人材像（本学が輩出すべき人材像）

社会の諸問題に、自分の役割を自覚して取り組むために、生涯にわたって学び続けることができる人

教育目標

社会の諸問題に、自分の役割を自覚して取り組むために、生涯にわたって学び続けることができる人材を、「実践的な教育」によって育成すること。

全学部

教育研究上の目的（学則第 1 条）

諸科学の研究をととして、地域及び国際社会の発展に寄与するとともに、高度な専門知識と豊かな教養を身につけた有為な人材を育成すること。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

石巻専修大学では、建学の精神、大学の理念（21 世紀ビジョン）に基づいて、幅広い教養と専門的知識を持ち、情報収集力と情報発信力及び専門的能力、主体的な行動力と社会の諸課題解決への姿勢、創造的思考力と研究遂行能力を身に付け、各学部・学科が求める学習成果を上げた者に学士の学位を授与する。なお、身に付けるべき具体的能力を以下に示す。

<知識・理解>

- ① 幅広い教養と専門的知識

<汎用的技能>

- ② 情報収集力と情報発信力および専門的能力

<態度・志向性>

- ③ 主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢

<統合的な学習経験と創造的思考力>

- ④ 創造的思考力と研究遂行能力

養成する人材像

社会の諸問題に、自分の役割を自覚して取り組むために、生涯にわたって学び続けることができる人

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

石巻専修大学は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示した4項目の能力について、学部・学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、教育課程を基本教育科目と専門教育科目から体系的に構成する。授業は講義・演習・実験・実習・実技の様々な方法・形態等により行い、学生が主体的・能動的に学ぶことができるものとする。

- ① 教育課程の編成に当たり、基本教育科目は、幅広い教養及び総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養することを目的に、スキル養成科目、社会性養成科目、教養力養成科目を開設し、専門教育科目は、各学部各学科に関わる高度な専門の知識及び技能（スキル）並びに技術（スキルの体系）を身に付け、実社会で活躍するための能力の修得を目的として、編成する。
- ② 教育課程の実施に当たっては、学生個々人の主体的で活発な勉学意欲を促進し、地域社会に根ざし、他者との協働を重視した実践的な教育を、少人数を基本に実施することによって、知識・技能ならびに技術の定着を図る。
- ③ 成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度を目安として、知識・理解のみならず、思考・判断や関心・意欲なども加味して多面的に行う。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

石巻専修大学では、求める学生像と入学者選抜の基本方針に基づいた入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を設定する。建学の精神、大学の理念（21世紀ビジョン）を体现するための意欲と各学部・学科での教育に必要な適性を有した学生を、幅広く受け入れるため、次のような求める学生像を掲げ、積極的に受け入れる。そして、入学者選抜の基本方針は、入試方法の多様化、評価法の多元化に努めるとともに、入学志願者の大学教育を受けるにふさわしい能力や適性等を多面的に判定し、公正かつ妥当な方法で入学者を選抜する。学部・学科の教育目的、教育内容等に応じ、入学後の教育との関連を十分に踏まえた上で、多様な入学者選抜を実施する。

[求める学生像]

<幅広い教養と専門的知識>

- ① 高等学校で履修する教科・科目などを習得し、本学での修学に必要な基礎学力や技能を持っている。

<情報収集力と情報発信力および専門的能力>

- ② 物事を複数の視点から考察し、自分の考えをまとめ、表現できる能力を持っている。

<主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢>

- ③ 社会の諸問題に関心を持ち、他者の意見も尊重し、主体的に学ぼうとする姿勢・態度を持っている。

[入学者選抜の基本方針]

- ① 求める学生像を踏まえて、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入学者選抜制度を設ける。
- ② 入学前の学習歴、学力水準、能力等に応じた判定は、学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ」）を多面的・総合的に把握するために、面接、小論文、調査書、志望理由書、筆記試験などから複数を各入学者選抜制度に組み入れて行われる。
- ③ 試験問題に関して、出題のねらいを明確にする。

理工学部

教育研究上の目的（学則第3条の2）

理工学部は、基礎科学からそれを応用する技術に至る総合的、体系的な教育研究を通して、幅広い教養と専門知識を習得し、人間社会が必要とする多様な情報を科学的に収集し、必要な情報を発信できる能力を備え、様々な科学技術の諸課題の解決に主体的かつ創造的に貢献できる能力を育てることを教育上の目的とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

理工学部では、次に掲げる4つの能力、すなわち、幅広い教養と専門知識、情報収集力と情報発信力および職業で必要となる専門的技能、主体的な行動力と社会の諸課題解決への姿勢、創造的思考力と研究遂行能力を、確実に身につけている者に学位を授与する。

<幅広い教養と専門的知識>

- ① 人文・社会・自然科学全般についての幅広い教養を有し、さらに理工学分野における基礎的・専門的な知識・方法論を体系的に習得している。

<情報収集力と情報発信力および専門的能力>

- ② 理工学分野における専門的知識の理解のもと、必要となる情報を収集・分析し、それらを的確に発信できる能力を習得している。また、専門分野で必要とされる基本的な技能を習得している。

<主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢>

- ③ 社会の一員として求められる態度や志向性ととも、理工学分野における諸課題解決に主体的に取り組む姿勢と行動力を習得している。

<創造的思考力と研究遂行能力>

- ④ 学修した知識や技能を総合的に活用し、理工学分野の諸問題について自ら課題を探究できる創造的思考力と研究遂行能力を習得している。

養成する人材像

理工学部では、社会の一員として求められる汎用的技能と態度や志向性および人間・社会に関

する知識の習得とともに、自然科学分野や工学分野の幅広い専門知識と技能の習得に加えて、社会の多様な局面で知識の有効活用と倫理観に沿った総合的判断ができる能力を有し、生命・自然環境に配慮した持続可能な社会の構築や高度情報化を伴う産業技術の発展に主体的に貢献できる人材を養成する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

理工学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示した4つの能力を学修するために、社会の一員として求められる汎用技能や総合的な判断力及び幅広い教養を養成する基本教育科目、理工学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技能、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心とするカリキュラムを展開する。

入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

[求める学生像]

理工学部では、理工学分野に関連する基礎的な知識と技能を習得し、さまざまな科学技術の課題解決に主体的かつ創造的に貢献できる能力を育てるために、理工学分野に広く興味を持ち、それを探求したいという意欲とともに、次に掲げる能力・資質を有する者を受け入れることとする。

- ① 高等学校で履修する教科・科目などを習得し、本学での修学に必要な基礎学力を持っている。
- ② 物事を複数の視点から考察し、自分の考えをまとめ、それを表現できる能力を持っている。
- ③ 社会の諸問題に関心を持ち、他者の意見も尊重しながら、主体的に学ぼうとする姿勢・態度を持っている。

[入学者選抜の基本方針]

一般選抜および大学入学共通テスト利用選抜

一般選抜では、記述式試験を含む筆記試験により基礎学力および論理的思考力と表現力を評価し、大学入学共通テスト利用選抜では、受験した試験科目により基礎学力および論理的思考力と表現力を評価する。また、調査書により社会の諸課題に関心を持って、主体的に学ぼうとする姿勢や態度を評価する。

総合型選抜

調査書により基礎学力や技能を評価し、小論文では論理的思考と表現力を評価する。また、面接および大学入学希望理由書により、社会の諸課題に関心を持って、主体的に学ぼうとする姿勢や態度を評価する。ここでは、学術、文化、芸術、スポーツなどの様々な分野における活動実績も総合的に評価する。

学校推薦型選抜

調査書および本学が定めた推薦基準により基礎学力や技能を評価し、面接と志望理由書等で、論理的思考力と表現力、ならびに主体的に学ぼうとする姿勢や態度を評価する。

特待生選抜

記述式試験を含む筆記試験により、基礎学力および論理的思考力と表現力を評価する。また調査書と志望理由書により、社会の諸課題に関心を持って、主体的に学ぼうとする姿勢や態度を評価する。ここでは、向学心が旺盛で、一般学生の模範となり、将来は社会の様々な方面での活躍が期待される人材を求める。

社会人選抜・帰国生選抜

成績証明書等で基礎学力や技能を評価する。また、小論文で論理的思考力と表現力を評価し、面接と志願者調書により、社会の諸課題に関心を持って、主体的に学ぼうとする姿勢や態度を評価する。

外国人留学生選抜

成績証明書等で基礎学力や技能を評価する。また、小論文で論理的思考力と表現力を評価し、面接と志願者調書等により、社会の諸課題に関心を持って、主体的に学ぼうとする姿勢や態度を評価する。と同時に、日本語で行われる授業への適応力も確認する。

編入学者選抜

成績証明書等で基礎学力と技能を評価する。また、小論文で論理的思考力と表現力を評価し、面接と志願者調書により、社会の諸課題に関心を持って、主体的に学ぼうとする姿勢や態度を評価する。

生物科学科（R4～）

教育研究上の目的

理工学部生物科学科は、生物科学分野に係る教育研究を通して、幅広い教養に支えられた豊かな人間性や社会倫理観、生涯にわたり学び続ける主体性を養うとともに、生物を科学的に探求するための知識・技能と調査・実験の結果に対する解析力や論理的な思考力を確実に身に付け、それらを生物科学に関する社会の諸課題の解決に活用できる総合的かつ創造的な能力を育てることを教育上の目的とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

生物科学科では、次に掲げる4つの能力、すなわち、幅広い教養と専門知識、情報収集力と情報発信力および専門的技能、主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢、創造的思考力と研究遂行能力を、確実に身につけている者に学位（理学）を授与する。

<幅広い教養と専門的知識>

- ① 人文・社会・自然科学全般の幅広い教養を有し、さらに生物科学の基幹科目および応

用科目と関連学問分野の知識を総合的かつ体系的に習得している。

<情報収集力と情報発信力および専門的能力>

- ② 生物科学分野における専門的知識の理解のもと、適切な方法で情報を収集・分析し、それを的確に表現し伝達できる能力、さらに得られたデータを複眼的・論理的に思考し適切かつ効果的に運用・伝達できる能力を習得している。

<主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢>

- ③ 生物科学に係る社会の諸課題に広く興味・関心をもち、社会の持続・発展に意欲的に関与する主体的な行動力を習得している。

<創造的思考力と研究遂行能力>

- ④ 人間活動と生物・環境に係る諸問題について自ら課題を探究できる創造的思考力および研究能力を習得している。

養成する人材像

生物科学科では、社会の一員として求められる汎用的技能、態度や志向性および人間社会と自然に関する知識の習得とともに、多様な生物の生理・生態とそれらを育む環境に関する学問分野を統合的に理解し、人間活動と生物・環境に係る諸課題を論理的に洞察・探求できる能力を備え、生命科学や自然環境を保護・再生・修復する技術の発展、ならびに生命の尊さと多様な生息環境を守る必要性を伝え教えることに主体的に貢献できる豊かな創造力を身につけた人材を養成する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

生物科学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示した4つの能力を学修するために、生物科学分野の基本的な知識を養成する専門基礎科目、応用領域や関連領域に関する専門性の高い知識と技術、論理的思考力と問題解決能力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目を中心にカリキュラムを展開して、次の方針に基づいて編成する。

- ①－1 幅広い教養および豊かな人間性を涵養することを目的として、人文・社会・自然科学全般の基本的な科目および外国語に関する知識を身につける科目を配置する。
- ①－2 生物科学全般と関連する幅広い専門知識・技能を養成するための科目および専門分野の応用領域や関連諸分野を総合的かつ体系的に理解するための科目を配置する。
- ②－1 科学的情報を収集・整理・分析し、適切かつ効果的に活用・伝達できるサイエンスコミュニケーション能力および的確な判断により問題を解決できる力を養成する科目を配置する。
- ②－2 生物を対象とした調査・研究の基本的かつ汎用的な方法および技能を身につける科目を配置する。
- ③－1 社会の一員として望ましい心構えや人間性とともに、継続的な社会の発展や諸課題に意欲的に関与する態度および生涯にわたり学び続ける主体性を身につける科目を配置す

る。

- ③－2 生物科学分野に関連する社会的活動に対して、地球規模な視点や地域の視点を持って関与するために必要な社会観や倫理観を身につける科目を配置する。
- ④ 生物科学研究に関する総合的な学習経験を通して、人間活動と生物・環境に係る 諸問題について自ら課題を探究できる創造的思考力および実践的な研究遂行能力を身につける科目を配置する。

履修コース

【海洋生物・環境コース】

生物科学の基礎を学んだ上で、海洋生物分野および環境科学分野に関する授業科目や野外実習により専門性を高め、海洋生物の保護、海洋環境の保全・再生・修復、生物資源の有効利用などを通じて人類・社会の発展に貢献できる創造的な能力を身につける。

【動物・植物コース】

生物科学の基礎を学んだ上で、動物・植物の生理・発生、分類、生態に関する授業科目や野外実習により専門性を高め、野生生物の保護・管理、自然環境の保全、生物機能の有効利用などを通じて人類・社会の発展に貢献できる創造的な能力を身につける。

【微生物・生命分子コース】

生物科学の基礎を学んだ上で、微生物分野および生命分子分野に関する授業科目や微生物を利用した実践的バイオ技術の習得により専門性を高め、細胞・分子レベルでの諸生命現象の探究を通して人類・社会の発展に貢献できる創造的な能力を身につける。

【自然科学コース】

生物科学の基礎を学んだ上で、生物学、化学、物理学分野に関する専門科目・実習・実験を幅広く習得して総合的に自然科学についての理解を深め、生物・生命と自然に係る真理探究や自然科学教育を通して人類・社会の発展に貢献できる能力を身につける。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

生物科学科では、生物科学分野に関する基礎的な知識の習得のもとに、人間活動と生物・自然環境に係る諸課題の解決に活用できる創造的な能力を育てることから、「高等学校で履修する教科・科目などを習得し、本学での修学に必要な基礎学力や技能を有し、生物・生命や自然環境に興味や関心を持ち、大学の勉学を通じて、それを主体的に探究したいと考えている者」を受入れることとする。

機械工学科（R4～）

教育研究上の目的

理工学部機械工学科は、機械工学分野に係る教育研究を通して、幅広い教養に支えられた豊かな人間性や高い職業観、生涯にわたり学び続ける主体性を養うとともに、機械工学分野に関する知識と技能を体系的に身に付け、現代の機械産業の諸課題の解決に活用できる総合的かつ創造的な能力を育てることを教育上の目的とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

機械工学科では、次に掲げる4つの能力、すなわち、幅広い教養と専門知識、情報収集力と情報発信力および職業で必要となる専門的技能、主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢、創造的思考力と研究遂行能力を、確実に身につけている者に学位（工学）を授与する。

<幅広い教養と専門的知識>

- ① 人文・社会・自然科学全般の幅広い教養を有し、さらに機械工学分野の基幹科目および応用科目と関連科目の知識を体系的に習得している。

<情報収集力と情報発信力および専門的能力>

- ② 機械工学分野における専門的知識の理解のもと、適切な方法で情報を収集・分析し、それを的確に表現し伝達できる能力を習得している。また、技術者として必要な基本的な技能を習得している。

<主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢>

- ③ 技術者や研究者としての高い倫理観を有し、機械工学分野における諸課題解決に意欲的に関与する主体的な行動力を習得している。

<創造的思考力と研究遂行能力>

- ④ 機械工学分野の諸問題について自ら課題を探究できる創造的思考力および研究能力を習得している。

養成する人材像

機械工学科では、社会の一員として求められる汎用的技能、態度や志向性および人間社会と自然に関する知識の習得とともに、機械の設計や製造、運転や保全を適切に遂行するための専門的な知識と実践的な能力に加えて、情報通信技術等の周辺技術を機械工学に融合するための基礎的な知識を有し、ものづくりを中心とした幅広い機械産業の諸問題に柔軟に対応しながら、社会の発展に主体的に貢献できる豊かな創造力を身につけた人材を養成する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

機械工学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示した4つの能力を学修するために、機械工学分野の基本的な知識を養成する専門基礎科目、応用領域や関連領域に関する専門性の高い知識と技能、論理的思考力と問題解決能力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目を中心にカリキュラムを展開して、次の方針に基づいて編成する。

- ①－１ 幅広い教養および豊かな人間性を涵養することを目的として、人文・社会・自然科学全般の基本的な科目および外国語に関する知識を身につける科目を配置する。
- ①－２ 機械工学分野に関する幅広い専門知識と技術を理解するための科目および応用領域や関連諸分野を体系的に理解するための科目を配置する。
- ②－１ 機械工学分野に関するデータや情報を適切な方法で収集・分析し、それを適切かつ効果的に伝達するために必要な能力を身につける科目を配置する。
- ②－２ 機械工学分野における専門的技術や職業で必要となる技能を身につける科目、科学的情報を論理的に扱うための基礎的な能力を身につける科目を配置する。
- ③－１ 社会の一員として望ましい心構えや人間性ととともに、継続的な社会の発展や諸課題に意欲的に関与する態度および生涯にわたり学び続ける主体性を身につける科目を配置する。
- ③－２ 機械工学分野に関連する社会的活動に対して、地球規模な視点や地域の視点を持って関与するために必要な社会観や倫理観を身につける科目を配置する。
- ④ 学修した知識、技能、態度等の総合化を図るとともに、機械工学分野の諸問題について自ら課題を探究できる創造的思考力および研究能力を身につける科目を配置する。

履修コース

【機械創造コース】

機械工学分野の基礎を学んだ上で、コンピュータ援用技術を用いた機械設計や製造などの授業科目により専門性を高め、ものづくりプロセスの課題解決型学習や卒業研究を通じて、現代の機械産業の課題解決に活用できる創造的な能力を身につける。

【自動車コース】

機械の動作原理や構造及び制御の基礎を学んだ上で、自動車技術全般に関する授業科目により実践的に専門性を高め、実験課題や卒業研究を通じて、デジタル化が進展する自動車産業や持続可能な社会に貢献できる創造的な能力を身につける。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

機械学科では、機械工学分野に関する基礎的な知識の習得のもとに、機械の設計や製造、運転や保全などの知識と技能を現代の機械産業の諸課題に活用できる創造的な能力を育てることから、「高等学校で履修する教科・科目などを習得し、本学での修学に必要な基礎学力や技能を有し、機械工学分野に興味を持ち、大学の勉学を通じて、ものづくりや新しい仕組みづくりを主体的に探究したいと考えている者」を受入れることとする。

情報電子工学科（R4～）

教育研究上の目的（学則第3条の2）

理工学部情報電子工学科は、情報通信及び電気電子工学分野に係る教育研究を通して、幅広い教養に支えられた豊かな人間性や高い職業観、生涯にわたり学び続ける主体性を養うとともに、情報通信及び電気電子工学分野に関する知識と技術を体系的に身に付け、現代の高度情報化社会の諸課題の解決に活用できる総合的かつ創造的な能力を育てることを教育上の目的とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

情報電子工学科では、次に掲げる4つの能力、すなわち、幅広い教養と専門知識、情報収集力と情報発信力および職業で必要となる専門的技術、主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢、創造的思考力と研究遂行能力を、確実に身につけている者に学位（工学）を授与する。

<幅広い教養と専門的知識>

- ① 人文・社会・自然科学全般の幅広い教養を有し、さらに情報通信および電気電子工学分野における基幹科目と応用科目および関連科目の知識を体系的に習得している。

<情報収集力と情報発信力および専門的能力>

- ② 情報通信および電気電子工学分野における専門的知識の理解のもと、適切な方法で情報を収集・分析し、それを的確に表現し伝達できる能力を習得している。また、専門分野で必要とされる基本的な技術を習得している。

<主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢>

- ③ 技術者や研究者としての高い倫理観を有し、情報通信および電気電子工学分野における諸課題解決に意欲的に関与する主体的な行動力を習得している。

<創造的思考力と研究遂行能力>

- ④ 情報通信および電気電子工学分野の諸問題について自ら課題を探究できる創造的思考力および研究能力を習得している。

養成する人材像

情報電子工学科では、社会の一員として求められる汎用的技術、態度や志向性および人間社会と自然に関する知識の習得とともに、情報通信および電気電子工学分野の横断的な専門知識と実践的な能力に加えて、実システム構築に有用な機械工学的な基礎知識を合わせ持ち、高度情報化社会で求められる先進的デジタル技術とこれを支える基幹産業の発展および社会インフラの運用・管理に主体的に貢献できる豊かな創造力を身につけた人材を養成する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報電子工学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示した4つの能力を学修するために、情報通信および電気電子工学分野の基本的な知識を養成する専門基礎科目、応用領域や関連領域に関する専門性の高い知識と技術、論理的思考力と問題解決能力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目を中心にカリキュラムを展開して、次の方針に基づいて編成する。

- ①－１ 人文・社会・自然科学の幅広い教養を身につけるために、人間の内面・社会の仕組み・自然と人間の関係に関わる基本科目と教養としての外国語科目を配置する。
- ①－２ 専門分野に関する幅広い知識を身につけるために、理工系学問を支える自然科学に関する基本科目、情報通信および電気電子工学分野における基礎・応用科目、機械工学分野の関連科目を配置する。
- ②－１ 専門分野で求められる情報収集・分析に関する科目と、情報を的確に他者に伝達するために必要なコミュニケーション能力を高める科目を配置する。
- ②－２ 専門分野で必要となる基本技術と思考力を経験的に身につけるための実習・実験科目を配置する。
- ③－１ 社会の諸課題に意欲的に取り組み、社会の一員としてのキャリアを形成する科目を配置する。
- ③－２ 学修した知見を社会に還元する上で、必要な倫理観を身につける科目を配置する。
- ④ 専門分野の諸問題の解決に向けて、実践的な研究遂行能力を育むための科目を配置する。

履修コース

【情報通信コース】

エレクトロニクスおよび情報通信分野の基礎を幅広く学んだ上で、AI、IoT、ロボットなどの知能情報処理や先進的デジタル技術に関する授業科目群で専門性を高め、実験課題や卒業研究を通じて高度情報化社会における諸課題を探究できる創造的な能力を身につける。

【電気電子コース】

エレクトロニクスおよび情報通信分野の基礎を幅広く学んだ上で、半導体デバイス・電力制御技術などの電気電子工学全般の授業科目群で専門性を高め、実験課題や卒業研究を通じて高度情報化社会で通用する電気電子工学分野のエンジニアとしての創造的な能力を身につける。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

情報電子工学科では、情報通信および電気電子工学分野に関する基礎的な知識の習得のもとに、先進的なデジタル技術やエレクトロニクス技術などを実践的に学び、高度情報化社会における諸課題に工学的な視点から取り組む能力を育てることから、「高等学校で履修する教科・科目などを習得し、本学での修学に必要な基礎学力や技能を有し、知能情報処理やエレクトロニクス技術などに興味や関心を持ち、大学の勉学を通じて、それを主体的に探究したいと考えている者」を受入れることとする。

大学のCP

石巻専修大学は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に示した4項目の能力について、学部・学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、教育課程を基本教育科目と専門教育科目から体系的に構成する。授業は講義・演習・実験・実習・実技の様々な方法・形態等により行い、学生が主体的・能動的に学ぶことができるものとする。

- ①教育課程の編成に当たり、基本教育科目は、幅広い教養及び総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養することを目的に、スキル養成科目、社会性養成科目、教養力養成科目を開設し、専門教育科目は、各学部各学科に関わる高度な専門の知識及び技能(スキル)並びに技術(スキルの体系)を身に付け、実社会で活躍するための能力の修得を目的として、編成する。
- ②教育課程の実施に当たっては、学生個々人の主体的で活発な勉学意欲を促進し、地域社会に根ざし、他者との協働を重視した実践的な教育を、少人数を基本に実施することによって、知識・技能ならびに技術の定着を図る。
- ③成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度を目安として、知識・理解のみならず、思考・判断や関心・意欲なども加味して多面的に行う。

理工部のCPー生物科学科のCP①

学部 CP	学科 CP①
理工学部では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に示した4つの能力を学修するために、社会の一員として求められる汎用技能や総合的な判断力及び幅広い教養を養成する基本教育科目、理工学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技能、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心とするカリキュラムを展開する。	生物科学科では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に示した4つの能力を学修するために、生物科学分野の基本的な知識を養成する専門基礎科目、応用領域や関連領域に関する専門性の高い知識と技術、論理的思考力と問題解決能力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目を中心にカリキュラムを展開して、次の方針に基づいて編成する。

生物科学科のCP②

教育上の目的	養成する人材	DP		CP②	授業科目
生物科学科では、生物科学分野に関する教育研究を通して、幅広い教養に支えられた豊かな人間性や社会倫理観、生涯にわたり学び続ける主体性を養うとともに、生物を科学的に探求するための知識・技能と調査・実験結果に対する解析力や論理的な思考力を確実に身につけ、それらを生物科学に係る社会の諸課題の解決に活用できる総合的かつ創造的な能力を育てることを教育上の目的とする。	生物科学科では、社会の一員として求められる汎用的技能、態度や志向性および人間社会と自然に関する知識の習得とともに、多様な生物の生理・生態とそれらを育む環境に関する学問分野を統合的に理解し、人間活動と生物・環境に係る諸課題を論理的に洞察・探求できる能力を備え、生命科学や自然環境を保護・再生・修復する技術の発展、ならびに生命の尊さと多様な生息環境を守る必要性を伝え教えることに主体的に貢献できる豊かな創造力を身につけた人材を養成する。	生物科学科では、次に掲げる4つの能力、すなわち、幅広い教養と専門知識、情報収集力と情報発信力および専門的スキル、主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢、創造的思考力と研究遂行能力を、確実に身につけている者に学位(理学)を授与する。	【幅広い教養と専門的知識】	①-1 幅広い教養および豊かな人間性を涵養することを目的として、人文・社会・自然科学全般の基本的な科目および外国語に関する知識を身につける科目を配置する。	日本の歴史② 日世界の歴史② 異文化理解の人類学② 哲学-知の起源-② 心理学-心の科学-② 社会学の世界② 生命と地球② 環境と科学② 健康科学と身体運動② 英語A② 英語B② 英語C② 英語D② 中国語AⅠ② 中国語AⅡ② 中国語BⅠ② 中国語BⅡ② フランス語Ⅰ② フランス語Ⅱ②
			【情報収集力と情報発信力および専門的能力】	①-2 生物科学全般と関連する幅広い専門知識・技能を養成するための科目および専門分野の応用領域や関連諸分野を総合的かつ体系的に理解するための科目を配置する。	基礎生物学② 生物学② 基礎化学② 化学② 基礎物理学② 物理学② 地学② 微分積分② 線形代数② 応用数学② 解析学② 生物科学基礎演習① 生物学実験② 化学実験② 物理学実験② 地学実験② 生化学② 分子生物学② バイオテクノロジー② 微生物学② 遺伝子工学② 遺伝学② 細胞生物学② 多様性生物学② 動物解剖学② 動物生理学② 原生生物学② 細胞組織学② 動物発生学② 動物生態学② 分子発生学② 植物機能形態学② 植物生理学② 植物系統分類学② 植物生態学② 菌類学② 海洋学② 魚類生理学② 海洋脊椎動物学② プランクトン学② 海洋分子生物学② 無脊椎動物学② 水圏微生物学② 海洋動物生産学② 海洋動物発生学② 海洋生態学② 魚類生態学② 共生と寄生の生物学② 海洋生物利用学② 水環境学② 水質環境工学② 生物環境工学② 水質浄化化学② 無機化学② 有機化学② 分析化学② 物理化学② 高分子化学② 化学環境学② コロイド・界面科学② 振動と波動② 電磁気学② 熱力学②
				②-1 科学的情報を収集・整理・分析し、適切かつ効果的に活用・伝達できるサイエンスコミュニケーション能力および的確な判断により問題を解決できる力を養成する科目を配置する。	情報活用法Ⅰ② 情報活用法Ⅱ② 基礎統計学② 基礎数学② 生物環境統計学② 日本語技法A② 日本語技法B② 英語コミュニケーションA② 英語コミュニケーションB② 英語コミュニケーションC② 英語コミュニケーションD② バイオサイエンスコミュニケーション①
				②-2 生物を対象とした調査・研究の基本的かつ汎用的な方法および技能を身につける科目を配置する。	環境調査法基礎② 海洋生物・環境基礎演習① 動物・植物基礎演習① 微生物・生命分子基礎演習① 自然科学基礎演習① 野外生物実習① 海洋生物・環境科学実習① 植物学実習① 動物学実習① 生命科学実習① 潜水調査実習① 生物科学実験Ⅰ② 生物科学実験Ⅱ② 生物科学発展演習②
			【主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢】	③-1 社会の一員として望ましい心構えや人間性とともに、継続的な社会の発展や諸課題に意欲的に関与する態度および生涯にわたり学び続ける主体性を身につける科目を配置する。	キャリア設計② キャリア開発② キャリア研究② 国際体験研修② 海外語学研修② 異文化体験研修② フレッシュマンセミナーA① フレッシュマンセミナーB①
				③-2 生物科学分野に関連する社会的活動に対して、地球規模な視点や地域の視点を持って関与するために必要な社会観や倫理観を身につける科目を配置する。	いのまき学② ボランティア論② 総合科目② 情報社会論② 法と社会② 法と人権② 地域と政策② 生物科学概論② 保全生物学② 野生動物保護論② 公衆衛生学② 環境衛生学②
			【創造的思考力と研究遂行能力】	④ 生物科学研究に関する総合的な学習経験を通して、人間活動と生物・環境に係る諸問題について自ら課題を探究できる創造的思考力および研究能力を習得している。	生物科学実験Ⅲ① 生物科学総合演習② 卒業研究⑥

理工学部 情報電子工学科 教育課程構造化(カリキュラムマップ)

大学の CP

石巻専修大学は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に示した4項目の能力について、学部・学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、教育課程を基本教育科目と専門教育科目から体系的に構成する。授業は講義・演習・実験・実習・実技の様々な方法・形態等により行い、学生が主体的・能動的に学ぶことができるものとする。

①教育課程の編成に当たり、基本教育科目は、幅広い教養及び総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養することを目的に、スキル養成科目、社会性養成科目、教養力養成科目を開設し、専門教育科目は、各学部各学科に関わる高度な専門の知識及び技能(スキル)並びに技術(スキルの体系)を身に付け、実社会で活躍するための能力の修得を目的として、編成する。

②教育課程の実施に当たっては、学生個々人の主体的で活発な勉学意欲を促進し、地域社会に根ざし、他者との協働を重視した実践的な教育を、少人数を基本に実施することによって、知識・技能ならびに技術の定着を図る。

③成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度を目安として、知識・理解のみならず、思考・判断や関心・意欲なども加味して多面的に行う。

理工学部の CP—情報電子工学科の CP①

学部 CP	学科 CP①
理工学部では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に示した4つの能力を学修するために、社会の一員として求められる汎用技能や総合的な判断力及び幅広い教養を養成する基本教育科目、理工学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技能、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心とするカリキュラムを展開する。	情報電子工学科では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に示した4つの能力を学修するために、情報通信および電気電子工学分野の基本的な知識を養成する専門基礎科目、応用領域や関連領域に関する専門性の高い知識と技術、論理的思考力と問題解決能力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目を中心にカリキュラムを展開して、次の方針に基づいて編成する。

情報電子工学科の CP②

教育上の目的	養成する人材	DP	CP②	授業科目
情報電子工学科では、情報通信および電気電子工学分野に関する教育研究を通して、幅広い教養に支えられた豊かな人間性や高い職業観、生涯にわたり学び続ける主体性を養うとともに、情報通信および電気電子工学分野に関する知識と技術を体系的に身につけ、現代の高度情報化社会の諸課題の解決に活用できる総合的かつ創造的な能力を育てることを教育上の目的とする。	情報電子工学科では、社会の一員として求められる汎用的技術、態度や志向性および人間社会と自然に関する知識の習得とともに、情報通信および電気電子工学分野の横断的な専門知識と実践的な能力に加えて、実システム構築に有用な機械工学的な基礎知識を合わせ持ち、高度情報化社会で求められる先進的デジタル技術とこれを支える基幹産業の発展および社会インフラの運用・管理に主体的に貢献できる豊かな創造力を身につけた人材を養成する。	情報電子工学科では、次に掲げる4つの能力、すなわち、幅広い教養と専門知識、情報収集力と情報発信力および職業で必要となる専門的技術、主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢、創造的思考力と研究遂行能力を、確実に身につけている者に学位(工学)を授与する。	①-1 人文・社会・自然科学の幅広い教養を身につけるために、人間の内面・社会の仕組み・自然と人間の関係に関わる基本科目と教養としての外国語科目を配置する。	日本の歴史、世界の歴史、異文化理解の人類学、心理学-心の科学-、哲学-知の起源-、社会学の世界、生命と地球、環境と科学、健康科学と身体運動、英語 A、英語 B、英語 C、英語 D、中国語 AⅠ、中国語 BⅠ、中国語 AⅡ、中国語 BⅡ、フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ
			①-2 専門分野に関する幅広い知識を身につけるために、理工系学問を支える自然科学に関する基本科目、情報通信および電気電子工学分野における基礎・応用科目、機械工学分野の関連科目を配置する。	基礎化学、化学、基礎生物学、生物学、基礎物理学、物理学、微分積分、線形数学、応用数学、解析学、メカニズム基礎、情報処理基礎、コンピュータ概論、電子計測の基礎、電気基礎、電磁気学、情報システム概論ⅠA、情報システム概論ⅠB、情報システム概論ⅡA、情報システム概論ⅡB、電気回路A、電気回路B、電子物性工学、電子回路、システム制御工学、半導体デバイス工学、プログラミング論Ⅰ、プログラミング論Ⅱ、信号処理基礎論、集積回路工学、センサ工学、電気・電子回路応用、電力制御工学、画像情報工学、情報ネットワーク、オプトエレクトロニクス、シミュレーション工学、情報通信工学、組込みソフトウェア、IoT活用工学、パワープラント工学、組込みシステム、知能情報処理、3D-CAD、CAD活用工学、メカトロニクス、ロボット工学
			②-1 専門分野で求められる情報収集・分析に関する科目と、情報を的確に他者に伝達するために必要なコミュニケーション能力を高める科目を配置する。	情報活用法Ⅰ、情報活用法Ⅱ、基礎統計学、基礎数学、日本語技法 A、日本語技法 B、英語コミュニケーション A、英語コミュニケーション B、英語コミュニケーション C、英語コミュニケーション D
			②-2 専門分野で必要となる基本技術と思考力を経験的に身につけるための実習・実験科目を配置する。	基幹工学実習、物理学実験、情報電子工学基礎実験
		【主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢】 ③ 技術者や研究者としての高い倫理観を有し、情報通信および電気電子工学分野における諸課題解決に意欲的に関与する主体的な行動力を習得している。	③-1 社会の諸課題に意欲的に取り組み、社会の一員としてのキャリアを形成する科目を配置する。	キャリア設計、キャリア開発、キャリア研究、国際体験研修、海外語研修、異文化体験研修、フレッシュマンセミナーA、フレッシュマンセミナーB
			③-2 学修した知見を社会に還元する上で、必要な倫理観を身につける科目を配置する。	いのまき学、ボランティア論、総合科目、情報社会論、法と社会、法と人権、地域と政策、現代工学概論
		【創造的思考力と研究遂行能力】 ④ 情報通信および電気電子工学分野の諸問題について自ら課題を探索できる創造的思考力および研究能力を習得している。	④ 専門分野の諸問題の解決に向けて、実践的な研究遂行能力を育むための科目を配置する。	情報電子工学応用実験Ⅰ、情報電子工学応用実験Ⅱ、情報電子工学専門実験、プロジェクト実習、学外見学・実習、情報電子工学演習、卒業研究

理工学部 生物科学科 海洋生物・環境コース(履修モデル)

			1年次		2年次		3年次		4年次		合計				
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
基本教育科目	情報と分析力	必修	情報活用法Ⅰ 基礎数学	2 2	情報活用法Ⅱ	2					6				
		選択必修	基礎統計学		情報社会論						0				
	表現力	必修	英語A	2	英語B	2					4				
		選択必修	日本語技法A 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションC 中国語AⅠ フランス語Ⅰ	2 2 2	日本語技法B 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションD 中国語AⅡ フランス語Ⅱ	2	英語C 中国語BⅠ 語学から1科目選択	2	英語D 中国語BⅡ		8				
	キャリアの形成	必修		キャリア設計	2						2				
		選択必修			キャリア開発	2	キャリア開発	2	キャリア研究	2	4				
		選択	国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修		国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修						0				
	社会との関わり	必修	フレッシュマンセミナーA	1	フレッシュマンセミナーB	1					2				
		必修	いしのまき学	2							2				
		選択必修		ボランティア論							0				
		選択	総合科目								0				
	人間・社会・自然の理解	選択必修	日本の歴史 哲学－知の起源－ 心理学－心の科学－ 社会学の世界 法と社会 生命と地球 健康科学と身体運動 人間・社会・自然の理解から1科目選択	 2	世界の歴史 異文化理解の人類学 法と人権 地域と政策 (他の科目を選択しても良い) 環境と科学 人間・社会・自然の理解から2科目選択	 4					6				
		単位小計		15	13	4	0	2	0	0	0	34			
	専門教育科目	専門基礎科目	必修	基礎生物学	2	微分積分	2	生物学実験 化学実験 物理学実験 生物科学概論	1 1 1	生物学実験 化学実験 物理学実験	1		7		
選択必修				環境調査法基礎 生物学	2 2	微生物学 分子生物学	2 2	海洋生物・環境基礎演習	1		9				
選択 (コース関連)			基礎化学 基礎物理学 生物科学基礎演習	2 2 1	バイオテクノロジー 化学 生化学 物理学 熱力学 線形代数	 2 2	応用数学 無機化学 物理化学 熱力学 電磁気学		解析学 有機化学 分析化学		地学 地学実験	振動と波動	7		
専門展開科目		必修	野外生物実習	1	野外生物実習				バイオサイエンスコミュニケーション 生物科学実験Ⅰ	1 2	生物科学発展演習 生物科学実験Ⅱ	1 2	7		
		選択必修					海洋学 海洋脊椎動物学	2 2	海洋分子生物学 魚類生理学 水環境学 プランクトン学 無脊椎動物学	2 2 2 2 2 2 2 2 2	海洋生物・環境科学実習 植物学実習 動物学実習 生命科学実習 海洋生態学 海洋動物発生学 共生と寄生の生物学 水圏微生物学 水質環境工学 生物環境工学 保全生物学	1 2 2 2 2 2 2 2 2	海洋生物・環境科学実習 植物学実習 動物学実習 生命科学実習 海洋生物利用学 魚類生態学 水質浄化工学 海洋動物生産学 生物環境統計学	 2 2 2 2 2 2 2 2	38
		選択					遺伝学 多様性生物学 公衆衛生学	2 2	植物機能形態学 植物生理学 細胞生物学 動物解剖学 動物生理学	2 2 2	遺伝子工学 化学環境学 高分子化学 原生生物学 細胞組織学 植物系統分類学 動物発生学 潜水調査実習	2 2 2 2	菌類学 コロイド・界面科学 植物生態学 動物生態学 分子発生学 野生動物保護論 環境衛生学 潜水調査実習	 2 2	12
		専門研究科目	必修								生物科学実験Ⅲ 生物科学総合演習 卒業研究	1 2 6	生物科学総合演習 卒業研究	9	
単位小計			8	8	14	16	20	15	9	0	90				
単位合計			23	21	18	16	22	15	9	0	124				

理工学部 生物科学科 動物・植物コース(履修モデル)

			1年次		2年次		3年次		4年次		合計		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基本教育科目	情報と分析力	必修	情報活用法Ⅰ 基礎数学	2 2	情報活用法Ⅱ	2					6		
		選択必修	基礎統計学		情報社会論						0		
	表現力	必修	英語A	2	英語B	2					4		
		選択必修	日本語技法A 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションC 中国語AⅠ フランス語Ⅰ	2 2 2	日本語技法B 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションD 中国語AⅡ フランス語Ⅱ	2 2 2	英語C 中国語BⅠ 語学から1科目選択	英語D 中国語BⅡ			8		
	キャリアの形成	必修			キャリア設計	2					2		
		選択必修					キャリア開発	2	キャリア開発	2	4		
		選択	国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修		国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修						0		
	社会との関わり	必修	フレッシュマンセミナーA	1	フレッシュマンセミナーB	1					2		
		必修	いしのまき学	2							2		
		選択必修			ボランティア論						0		
		選択	総合科目								0		
	人間・社会・自然の理解	選択必修	日本の歴史 哲学－知の起源－ 心理学－心の科学－ 社会学の世界 法と社会 生命と地球 健康科学と身体運動 人間・社会・自然の理解から1科目選択	 2	世界の歴史 異文化理解の人類学 法と人権 地域と政策 環境と科学 人間・社会・自然の理解から2科目選択	 4					6		
	単位小計			15	13	4	0	2	0	0	34		
	専門教育科目	専門基礎科目	必修	基礎生物学	2	微分積分	2	生物学実験 化学実験 物理学実験 生物科学概論	1 1 1 1	生物学実験 化学実験 物理学実験	1	7	
選択必修					生化学 生物学 バイオテクノロジー	2 2 2	微生物学 分子生物学	2 2	動物・植物基礎演習	1	11		
選択			基礎化学 基礎物理学 生物科学基礎演習	2 1	化学 環境調査法基礎 物理学 線形代数	2 2 2	応用数学 無機化学 物理化学 熱力学 電磁気学		解析学 有機化学 分析化学		5		
専門展開科目		必修	野外生物実習	1	野外生物実習				バイオサイエンスコミュニケーション 生物科学実験Ⅰ	1 2	生物科学発展演習 生物科学実験Ⅱ	1 2	7
		選択必修				遺伝学 多様性生物学	2 2	植物機能形態学 植物生理学 細胞生物学 動物解剖学 動物発生学 保全生物学	2 2 2 2 2 2	海洋生物・環境科学実習 植物学実習 動物学実習 生命科学実習 菌類学 植物生態学 生物環境統計学 動物生態学 野生動物保護論	1 1 2 2 2 2 2 2	34	
		選択			海洋学 海洋脊椎動物学 公衆衛生学	2 2 2	海洋分子生物学 魚類生理学 水環境学 プランクトン学 無脊椎動物学	2 2 2 2 2	遺伝子工学 海洋生態学 海洋動物発生学 化学環境学 共生と寄生の生物学 高分子化学 水圏微生物学 水質環境工学 生物環境工学	2 2 2 2 2 2 2 2	海洋生物利用学 コロイド・界面科学 魚類生態学 水質浄化工学 海洋動物生産学 分子発生学 環境衛生学	2 2 2	16
		専門研究科目	必修								生物科学実験Ⅲ 生物科学総合演習 卒業研究	1 2 6	生物科学総合演習 卒業研究
単位小計				6	10	12	20	18	15	9	0	90	
単位合計				21	23	16	20	20	15	9	0	124	

理工学部 生物科学科 微生物・生命分子コース(履修モデル)

			1年次		2年次		3年次		4年次		合計					
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
基本 教育科目	情報と 分析力	必修	情報活用法Ⅰ 基礎数学	2 2	情報活用法Ⅱ	2					6					
		選択必修	基礎統計学		情報社会論						0					
	表現力	必修	英語A	2	英語B	2					4					
		選択必修	日本語技法A 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションC 中国語AⅠ フランス語Ⅰ	2 2 2	日本語技法B 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションD 中国語AⅡ フランス語Ⅱ	2 2 2	英語C 中国語BⅠ 語学から1科目選択	2	英語D 中国語BⅡ		8					
	キャリアの 形成	必履修			キャリア設計	2					2					
		選択必修					キャリア開発	2	キャリア開発	キャリア研究	2	4				
		選択	国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修		国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修							0				
	社会との 関わり	必修	フレッシュマンセミナーA	1	フレッシュマンセミナーB	1						2				
		必履修	いしのまき学	2								2				
		選択必修			ボランティア論							0				
		選択	総合科目									0				
	人間・社会・ 自然の理解	選択必修	日本の歴史 哲学－知の起源－ 心理学－心の科学－ 社会学の世界 法と社会 生命と地球 健康科学と身体運動 人間・社会・自然の理解から1科目選択	2 2	世界の歴史 異文化理解の人類学 法と人権 地域と政策 環境と科学 人間・社会・自然の理解から2科目選択	4						6				
		単位小計		15	13	4	0	2	0	0	0	34				
専門 教育科目	専門基礎科目	必修	基礎生物学	2	微分積分	2	生物学実験 化学実験 物理学実験 生物科学概論	1 1 1	生物学実験 化学実験 物理学実験	1		7				
		選択必修			生化学 生物学 バイオテクノロジー	2 2 2	微生物学 分子生物学	2 2	微生物・生命分子基礎演習 有機化学	1 2		13				
		選択	基礎化学 基礎物理学 生物科学基礎演習	2 1	化学 環境調査法基礎 物理学 線形代数	2	応用数学 無機化学 物理化学 熱力学 電磁気学		解析学 分析化学	2	地学 地学実験	振動と波動	7			
	専門展開科目	必修	野外生物実習	1	野外生物実習				バイオサイエンスコミュニケーション 生物科学実験Ⅰ	1 2	生物科学発展演習 生物科学実験Ⅱ	1 2		7		
		選択必修					遺伝学	2	植物生理学	2	海洋生物・環境科学実習 植物学実習 動物学実習 生命科学実習 遺伝子工学 高分子化学 原生生物学 細胞組織学 海洋動物発生学 動物発生学	1 2 2 2 2 2 2 2 2	海洋生物・環境科学実習 植物学実習 動物学実習 生命科学実習 菌類学 コロイド・界面科学 分子発生学	2 2 2 2 2		30
		選択					海洋学 海洋脊椎動物学 多様性生物学 公衆衛生学	2	海洋分子生物学 魚類生理学 植物機能形態学 水環境学 無脊椎動物学	2 2 2	海洋生態学 化学環境学 共生と寄生の生物学 植物系統分類学 水圏微生物学 水質環境工学 生物環境統計学 保全生物学	2 2 2 2 2	海洋生物利用学 魚類生態学 植物生態学 水質浄化工学 海洋動物生産学 生物環境統計学 動物生態学 野生動物保護論 環境衛生学	2 2 2 2 2		16
		専門研究科目	必修									生物科学実験Ⅲ 生物科学総合演習 卒業研究	1 2 6	生物科学総合演習 卒業研究		9
	単位小計		6	10	10	20	20	15	9	0	90					
	単位合計		21	23	14	20	22	15	9	0	124					

理工学部 生物科学科 自然科学コース(履修モデル)

			1年次		2年次		3年次		4年次		合計				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
基本 教育 科目	情報と 分析力	必修	情報活用法Ⅰ 基礎数学	2 2	情報活用法Ⅱ	2						6			
		選択必修	基礎統計学		情報社会論							0			
	表現力	必修	英語A	2	英語B	2						4			
		選択必修	日本語技法A 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションC 中国語AⅠ フランス語Ⅰ	2 2 2 2 2	日本語技法B 英語コミュニケーションB 英語コミュニケーションD 中国語AⅡ 中国語AⅡ フランス語Ⅱ	2 2 2 2 2	英語C 中国語BⅠ 語学から1科目選択	英語D 中国語BⅡ 語学から1科目選択				8			
	キャリアの 形成	必修			キャリア設計	2						2			
		選択必修					キャリア開発	2	キャリア開発		キャリア研究	2	4		
		選択	国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修		国際体験研修 海外語学研修 異文化体験研修							0			
	社会との 関わり	必修	フレッシュマンセミナーA	1	フレッシュマンセミナーB	1							2		
		必修	いしのまき学	2									2		
		選択必修			ボランティア論								0		
		選択	総合科目										0		
	人間・社会・自然の 理解	選択必修	日本の歴史 哲学－知の起源－ 心理学－心の科学－ 社会学の世界 法と社会 生命と地球 健康科学と身体運動 人間・社会・自然の理解から1科目選択	 2	世界の歴史 異文化理解の人類学 法と人権 地域と政策 環境と科学 人間・社会・自然の理解から1科目選択	 2							6		
		単位小計		13	11	4	4	2	0	0	0	34			
	専門 教育 科目	専門基礎 科目	必修	基礎生物学	2	微分積分	2	生物学実験 化学実験 物理学実験 生物科学概論	1 1 1 1	生物学実験 化学実験 物理学実験	1		7		
選択必修			基礎化学 基礎物理学	2 2	化学 生化学 生物学 物理学 無機化学 線形代数	2 2 2 2 2 2	応用数学 微生物学 分子生物学 無機化学 物理化学 熱力学	2 2 2 2 2 2	自然科学基礎演習 有機化学 分析化学	1 2 2	振動と波動	2	29		
選択			生物科学基礎演習	1	バイオテクノロジー 環境調査法基礎		電磁気学		解析学		地学 地学実験		1		
専門展開 科目		必修	野外生物実習	1	野外生物実習				バイオサイエンスコミュニケーション 生物科学実験Ⅰ	1 2	生物科学発展演習 生物科学実験Ⅱ	1 2	7		
		選択必修				遺伝学 海洋学	2 2	細胞生物学	2	海洋生物・環境科学実習 植物学実習 動物学実習 生命科学実習 化学環境学 高分子化学	1 1 2 2 2	海洋生物・環境科学実習 植物学実習 動物学実習 生命科学実習 コロイド・界面科学	2	12	
		選択				海洋脊椎動物学 多様性生物学 公衆衛生学	2	海洋分子生物学 魚類生理学 植物機能形態学 植物生理学 水環境学 動物解剖学 動物生理学 プランクトン学 無脊椎動物学	2 2 2 2 2 2 2 2	遺伝子工学 海洋生態学 海洋動物発生学 共生と寄生の生物学 原生生物学 細胞組織学 植物系統分類学 水圏微生物学 水質環境工学 生物環境工学 動物発生学 保全生物学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	海洋生物利用学 魚類生態学 菌類学 植物生態学 水質浄化工学 海洋動物生産学 生物環境統計学 動物生態学 分子発生学 野生動物保護論 環境衛生学		20	
		専門研究 科目	必修									生物科学実験Ⅲ 生物科学総合演習 卒業研究	1 2 6	生物科学総合演習 卒業研究	
単位小計			8	12	20	12	16	13	9	0	90				
単位合計			21	23	24	16	18	13	9	0	124				

理工学部 情報電子工学科 情報通信コース(履修モデル)

選択必修条件あり科目群			修得条件あり科目		コース必修科目		コース選択必須条件あり										
			1年次		2年次		3年次		4年次		合計						
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
基本 教育 科目	情報と 分析力	必修	情報活用法Ⅰ 基礎数学	2 2	情報活用法Ⅱ	2							6				
		選択必修	基礎統計学	2	情報社会論	2							4				
	表現力	必修	英語A	2	英語B	2							4				
		選択必修	日本語技法A	2		英語C	2	英語D	2				6				
	キャリアの 形成	必修			キャリア設計	2							2				
		選択必修				キャリア開発	2	キャリア開発					2				
		選択											0				
	社会との 関わり	必修	フレッシュマンセミナーA	1	フレッシュマンセミナーB	1							2				
		必修	いしのまき学	2									2				
		選択必修											0				
		選択											0				
		選択必修	日本の歴史	2	地域と政策	2	健康科学と身体運動	2					6				
	単位小計			15		11		6	2		0		0	34			
専門 教育 科目	専門基礎 科目	必修	基礎物理学 現代工学概論 情報処理基礎	2 2 2	微分積分 基幹工学実習 コンピュータ概論 電気基礎	2 1 2 2	物理学実験 電気回路A 情報システム概論ⅠA 情報システム概論ⅠB	1 2 2 2						21			
		選択必修			線形代数 メカニズム基礎	2 2	応用数学 基礎化学 電子計測の基礎	2 2 2	解析学	2				12			
		選択					基礎生物学	2	物理学 電気回路B	2 2				6			
	専門展開 科目	必修					情報システム概論ⅡA	2		情報電子工学応用実験Ⅰ	2	情報電子工学応用実験Ⅱ	2		6		
		選択必修							プログラミング論Ⅰ 情報システム概論ⅡB 信号処理基礎論 電子回路 組込みシステム	2 2 2 2 2	画像情報工学 情報ネットワーク シミュレーション工学 知能情報処理	2 2 2 2	プログラミング論Ⅱ 情報通信工学 組込みソフトウェア IoT活用工学	2 2 2 2		26	
		選択							システム制御工学	2	センサ工学 電気・電子回路応用	2 2	集積回路工学 電力制御工学	2 2		10	
	専門研究 科目	必修											情報電子工学専門実験 情報電子工学演習 卒業研究	1 2 6	情報電子工学演習 卒業研究		9
		選択														0	
	特別教養科目	単位外														0	
	単位小計			6		11		17	19		14		14		9	0	90
	単位合計			21		22		23	21		14		14		9	0	124

理工学部 情報電子工学科 電気電子コース(履修モデル)

選択必修条件あり科目群

修得条件あり科目

コース必修科目

コース選択必須条件あり

			1年次		2年次		3年次		4年次		合計		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基本 教育 科目	情報と 分析力	必修	情報活用法Ⅰ 基礎数学	2 2	情報活用法Ⅱ	2					6		
		選択必修		情報社会論	2					2			
	表現力	必修	英語A	2	英語B	2					4		
		選択必修	日本語技法A	2		英語C	2	英語D	2		6		
	キャリア の形成	必修		キャリア設計	2					2			
		選択必修			キャリア開発	2	キャリア開発		キャリア研究	2	4		
		選択								0			
	社会との 関わり	必修	フレッシュマンセミナーA	1	フレッシュマンセミナーB	1					2		
		必修	いしのまき学	2							2		
		選択必修									0		
		選択									0		
	人間・社会・ 自然の理解	選択必修	生命と地球	2	世界の歴史	2		環境と科学	2		6		
	単位小計			13	11	4	4	2	0	0	34		
専門 教育 科目	専門基礎 科目	必修	基礎物理学 現代工学概論 情報処理基礎	2 2 2	微分積分 基幹工学実習 コンピュータ概論 電気基礎	2 1 2 2	物理学実験 電気回路A 情報システム概論ⅠA 電子計測の基礎	1 2 2 2			23		
		選択必修	基礎化学	2	線形代数 メカニズム基礎	2 2	応用数学	2	解析学 電磁気学	2 2	12		
		選択			基礎生物学 情報システム概論ⅠB	2 2	物理学	2			6		
	専門展開 科目	必修					情報電子工学応用実験Ⅰ	2	情報電子工学応用実験Ⅱ	2	4		
		選択必修			電子物性工学	2	信号処理基礎論 システム制御工学 電子回路 半導体デバイス工学	2 2 2 2	シミュレーション工学 センサ工学 電気・電子回路応用 パワープラント工学	2 2 2 2	IoT活用工学 集積回路工学 電力制御工学 オプトエレクトロニクス	2 2 2 2	26
		選択			情報システム概論ⅡA	2	プログラミング論Ⅰ 組込みシステム	2 2	情報ネットワーク	2	情報通信工学	2	10
	専門研究 科目	必修							情報電子工学専門実験 情報電子工学演習 卒業研究	1 2 6	情報電子工学演習 卒業研究	9	
		選択									0		
	特別教養科目	単位外									0		
	単位小計			8	11	17	21	12	12	9	0	90	
	単位合計			21	22	21	25	14	12	9	0	124	